

啓伸塾便り

12月号
(師走)
December

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の新入塾生募集中

中間テストを終えて思ったこと

中間テストを終えて、中学生のみならず、塾や学校でやった問題が出たということをよく聞きます。それでその問題が出来たかという、出来なかったかということ。悔しいと思ってるのでしょうか？原因は何でしょうか？

初めてその問題に取り組み、それが出来れば、次出てきても出来るでしょう。しかし、出来なかったならば、やり直しをして出来るようにしなければ、次に出てきても出来ません。出来ないものを出来るようにする、今まで分からなかったことをわかるようにすることが学習です。やり直しは学習とは言いません。

もう少し頑張ればできるよになるのに、それをしないから、また後戻り。もったいないことです。

「なぜしないのか？」と聞く。「面倒くさいから」「と言います。確かに面倒です。しかし、それを我慢して「どうして間違えたか！何を覚えればできるか」ということをしっかりと理解して、やり直しをしてほしいと思います。

そうしなければ、また同じことです。これなら何もしないのと同じです。出来る子はみなこれを実行しています。

また、面倒くさいという言葉を使わないようにしてください。言葉に出すと、その思いが強くなります。ですから、悪いことは思っても口に出さないように。

良い事を口に出すように。口に出したことは、それを繰り返して行えば、必ず現実のものになります。

中間テストを、必ず五教科すべてやり直ししましょう。一年生も二年生も三年生もみな、最終目標の高校入試のためにやり直しましょう。

新型コロナウイルスの効果的な対策

NHK スペシャル「新型コロナ 全論文読解～AIで迫る 今知りたいこと～」
11月8日放送より

AIが抽出した、マスクに関する論文は驚くべきものだった。予防手段と考えられているマスクが、免疫力を向上させる効果もあるのではないか、という研究である。

米国の病院において、スタッフの感染の広がりをみた。マスクを着用していた37人のうち、3週間で13人が感染したが、症状がでたのは1人で、残り12人は無症状だった。

全員がコロナウイルスに対する免疫を獲得した。マスクをしていると、ウイルスの量が少ないので抗体も少ししかできないが、微量で感染が続き抗体が知らぬ間に増えるのではないかと考えられている。

マスクなしで、抗体を獲得した人は20%に過ぎなかったが、上記のようにマスクをした人は92.3パーセントが抗体を獲得した。実に3倍である。

つまり、マスクをするということは、ワクチンによる予防接種と同じ予防効果があるといえます。

最近、気が緩んでマスクをしない中学生の子がみえます。保護者の方からも強くマスクをするように声掛けをお願いします。

塾としましても、マスクの着用、消毒、換気、スタッフの勤務時間外での行動自粛等、感染拡大のための対策を考えうる限り取らせていただいて、授業に臨んでおります。

今月の予定

- 冬期休講は下記のようにさせていただきます。
12月28日(月)～1月3日(日)
- ◇年始は1月4日(月)より通常の授業を行います。ただし、**中3生は冬期講習**を行いますので上記の冬休みは適用されません。冬期講習の日程については、連絡済みです。
- ◇12月 12日・13日(土・日) 中学3年学年末テスト対策
9時30分～12時・14時～17時(中3生のみ)
- ◇中3生の冬期講習は、12月19日(土)から始まります。
- ◇1月10日(日) 第4回岐阜新聞学力テスト (中3生のみ)

中3生のみならず

よくこの時期になると早く進路を決めて楽になりたいので、今の成績でいけるかどうかといった安易な気持ちで志望校を決める子がいます。

それだけはやめましょう。後になって後悔することになります。志望校のこととは子供たちと個別にお話をしていますが、必要な保護者の方は、いつでも気軽に相談ください。

私立高校に関しては、学校と同じ資料があります。また、公立高校についても、学校や岐阜新聞学力テストの点数で、どのくらいの高校に合格しているか。また、合格者は入試でどのくらいの点数を取って合格しているかの資料もあります。

何度か言っていますが、一生の財産になる学習習慣を身に付けるのはこの高校受験の時期がラストチャンスです。受験生をお持ちの保護者の方は、ご家族一丸となって、お子様の受験を乗り越えましょう。

数学の基礎力

数学(算数)の基礎になるのは、計算力です。小学校低学年で四則の計算を習い、高学年で小数、分数の計算を覚えます。そして、中学ではこれらの計算を使って、文字式、方程式、関数といった単元を学習します。図形の問題にも方程式などの計算力が必要です。

計算力とは、計算の仕方がわかると言った単純なことではありません。正確に速くできるようになることです。面倒くさいといった気持ちを抑え、書くのを面倒がらず、とにかく書いて計算練習しなければなりません。ですから、計算力を身に付けるには、集中力と忍耐力が必要です。

この計算力は、本来小学校の時に、カード、ケドなどの学校の宿題による反復トレーニングで身に付くものです。中学からでも高校入試に向け、自覚を持って反復トレーニングすればその力は、身に付きます。計算を軽視しては、数学のみならず、ほかの教科の成績も上がりません。